学校番号	３２０

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校美術2」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎技術を身につけた上で自分自身の思いや感じ取ったことから表現する発展的な「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。人による違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート	レポート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞活動やグループワークの様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習内容	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	オリエンテーション ・透視図法演習 ・鉛筆による立方体表現練習 ①②③ ・想定描写	立方体表現①②③ 透視図法で表現する。 透視図法の学習を踏まえた発展的な課題に取り組む。	○	○	○	○	a.立体表現の理論に基づいた表現に意欲関心を持って取り組めているか。b.透視図法を理解し様々な角度からの立方体を構成表現できているか。c.表現を工夫し明暗、空間、立体感の表現を工夫しているか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの姿勢 作品の評価 制作態度 提出課題の評価 レポートの評価
	ロゴタイプ	自分を表現するロゴタイプ制作 色彩構成	○	○	○	○	a.自分について考えを深め意欲的に取り組めているか。b.アイデアを数多く出し、発想力を伸ばすことができているか。 c.配置や構成、配色の効果を考え工夫、表現技術の向上がみられるか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの姿制 作品の評価 制作態度 提出課題 レポートの評価
	鑑賞	高校展等展覧会を見て鑑賞レポート。	○			○	ad人の作品のよさや美しさを感じ取ることができるか。	レポートの評価
2学期	鉛筆デッサン　から色彩構成	鉛筆デッサン 身近なものを観察しデッサンする。 デッサンをもとに色彩構成を行う。	○	○	○	○	a.身近なものを観察し新たな発見ができているか。b.対象への客観的な観察、描写から発想し自身の表現構成を行えているか。c.配色のイメージを表現にいかし、着色の工夫がみられるか。d. 振り返りを行えているか。	作品の評価 制作態度
	木版	彫り進み木版による構成デザイン	○	○	○	○	a.好きな文字と柄を考え意欲的に取り組めているか。b.自分を深く知り造形的な面白さ表現の独創性を追求ができているか。c. 木版の技法を理解し、造形的な面白さ　表現の独創性の追求を行えているか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの姿制 作品の評価 制作態度 提出課題 レポートの評価

3学期	想像画	不思議な世界をテーマにアクリルガッシュ絵の具による表現を行う。	○	○	○	○	a 自分自身のイメージを意欲的に掘り下げているか。b.創造的に表現しようと自身を深く見つめることができているか。c.自身のイメージを深めるために表現の工夫、技術の向上がみられるか。d.振り返りを行えているか。	取り組みの姿制作品の評価制作態度提出課題レポートの評価

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。